

議員氏名：小笠原 陶子

議案番号：議案第22～26号

案件名：令和7年度二宮町一般会計予算

令和7年度二宮町国民健康保険特別会計予算

令和7年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算

令和7年度二宮町介護保険特別会計予算

令和7年度二宮町下水道事業会計予算

討論内容：

私は、議案第22号、一般会計予算と3つの特別会計と下水道事業会計について賛成の立場で討論いたします。

一般会計は100億7,000万円と過去最大の金額になりました。前年度比7.5%の増となっております。7年度は公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくりとして、ハード面の予算がとても大きくなっています。

役場庁舎の整備に1億1,040万円と生涯学習センター大規模改修の実施設計、これは令和10年度リニューアルオープン予定ですが、それに3,410万3,000円、それと温水プールがなくなった今、町の最後のプールである山西プールの長寿命化に向けた設計費用が580万4,000円、消防庁舎の大規模改修も前年度から続いています。

ハード整備にしばらくお金がかかって本当に大変ですが、高度成長期に造った老朽化した建物をここで将来の二宮の町民のために今頑張って整備していくことが重要だと考え、評価いたします。

消防署は、7年度移転のための予算もついて着々と準備が進んでいます。

ラディアンは町民にとって大切な文化の拠点ですので、改修期間は多くの町民が不便になります。他の施設と上手に連携を取りながら、二宮町の町民の文化度が下がらないように、町としても利用団体に情報提供などしっかり支援していただきますようよろしくお願いいたします。

そして、二宮町では、令和7年度は町制90周年を迎えます。冠事業が各課の予算に明記してありました。国のこども家庭庁ができたこともあり、国を挙げて少子化対策の中、子どもが真ん中、誰もが輝くやさしいまちづくりと銘打って事業を進めていくとのことは楽しみであります。

昨年は増田レポートの消滅可能性都市だった二宮町が、若いお母さんたちの転入が増えて、消滅可能性都市を脱したことはとてもめでたいことであり、それだけ新しく入ってきた子育て世代の方々の期待に応える町にしていかなければならないと強く思うところであります。

今年度は新規事業として、こども家庭センターにはぐと教育委員会との連携による子どもを真ん中にしたネットワークづくりや、子どもの権利に関する庁内各課横断による連携と全庁的な理解促進という項目で、予算的には少ないですけれども、そういった動きを進めていくということに期待を持ちます。

11月3日には、町制施行90周年記念事業としてイベントを74万9,000円で実施、町制施行90周年記念事業実行委員会とともに90周年を祝う催しを考えていくとのことです。若い世代の心に残るイベントになることを期待いたします。

にのみや学園小中一貫教育の取り組みの成果はまだこれからだと思いますが、小中一貫教育推進事業として310万7,000円があり、船はこぎ出されているので、しっかりかじを切って進めて

いつていただきたいと考えております。

次に、特別会計です。町長提出議案第23号、国民健康保険特別会計、今のところ予算の中では、一般会計繰入金は1億8,538万3,000円となっていて、令和6年度に比べて415万4,000円少なくなっています。

しかし、特別委員会の審査の中で、医療費の伸びは入院が増えているということでしたので、そういう方が増えればまた補正予算で繰り入れることがあるかもしれません。

私たちにできることは、早期発見、早期治療をすることだと思います。そこで、特定健診の受診率に関しては、令和6年度は担当課も知恵を絞って頑張りました。令和7年度も受診率の目標が40%ということで、目標に向かって頑張っていたいただきたいと考えます。

次に、町長提出議案第24号、後期高齢者医療特別会計です。10億9,755万9,000円です。団塊の世代が後期高齢者になっていますので、微増していく状況はやむを得ないと思い、適切な予算と判断いたします。

次に、町長提出議案第25号、介護保険特別会計です。何しろ介護保険は伸びていきます。本年度の予算は31億2,877万8,000円、介護認定を受けないで済むように、健康づくりにひたすら努めていただきたいと思います。

町では、地域介護予防活動支援事業として、通いの場を地区社協の協力を得て進めてきています。通いの場に出てくる人たちが固定化している部分もあり、様々な工夫を絶えず試みるのが重要です。

委託している社会福祉協議会とも十分連携を取って、引き続き多くの参加者とともフレイル予防に努めていただきたい。

議案第26号、下水道事業会計です。負担金の項目の中に今年初めて雨水貯留槽設置補助金が用意されました。3,250万円です。1件5万円掛ける650件を対象ということです。高騰する水道料金対策として進めていきます。

これについては反対を唱える委員もいて、丁寧な質疑が行われましたが、私はとてもよい事業だと思っています。

町には庭のある家庭がとても多く、雨水を利用して夏場の庭の水まきができることはとても助かります。そして、打ち水効果という言葉があって、みんなが一斉に水をまくと気温が下がるというデータがあります。近年、夏場はあまりにも暑く、かといって水道水をたくさん庭や道路にまくのもちゅうちょする中、今年の夏から思いっきり散水できるのはありがたいことです。

さて、下水道事業は、埼玉県八潮市の道路陥没事件を経て心配があるのですが、町はポンプ場の関係で工事開始が遅くなったため、寿命はまだ残っています。

ただ、コミュニティプラントを持っていた地区の管が老朽化していて、取替え工事を行うと説明がありました。

また、下水道に接続していないご家庭もまだあるので、引き続き接続勧奨に努めていただきたいと思います。

以上、5会計の賛成討論といたします。